

平成 30 年度 社会活動委員会

1. 委員会

社会活動委員会では、北海道本部の活動の中で、①調査研究、新規業務の開拓に関する事項 ②技術士業務の斡旋に関する事項 ③研究委員会に関する事項 を所掌しています。平成 30 年度はこれまでに 5 月 7 日、7 月 25 日、9 月 20 日、12 月 19 日と、4 回の委員会を開催してきました。統括本部や本部役員会報告のほか、主催講演会の名称について、講演会の運営について、異業種交流会について協議を続けてまいりました。

毎年度主催してきた講演会を、本年度より「社会交流セミナー」と称することになりました。技術士だけを対象とした内輪の講演会ではなく、広く一般社会に働きかけ市民と技術士との交流を図ってきたいという願いが込められています。

2. 社会交流セミナーの開催



写真-1 今年度の社会交流セミナー

名称を決定してから初めてとなる社会交流セミナーにおける講演は、日本赤十字北海道看護大学教授・災害対策教育センター長の根本昌宏先生に依頼いたしました。先生には 1 年ほど前より依頼し、今

年度はじめには開催日時を決定し準備を進めておりました。折しも 9 月、平成 30 年度北海道胆振東部地震が発生し、皆さんの関心が非常に高くなっているタイミングでの開催となりました。

11 月 29 日(木)の当日には技術士以外の一般の方々のご参加もあり、NHK 札幌放送局の取材クルーも会場入りして大層盛況となりました。講演の内容につきましては、別途『報告』にてご紹介いたします。NHK のニュースでも取り上げられたのですが、「道内の建設会社などの団体」という紹介のされ方をし、ガックリきてしまいました。画面には「日本技術士会北海道本部」としっかり映っていただけに、大変残念でした。このような形の取材が入った経験が無かったこともあって、クルーに対する説明不足がたたってしまいました。この失敗を踏まえて次回以降には「技術士会」とはっきり紹介いただけるようアピールしたいと思います。

3. 異業種交流会の計画

毎年度、技術士と技術士活動を知っていただくための活動の一環として、いろいろな分野の方々との異業種交流の時を持ってきました。これまでに、弁護士会、建築士会、公認会計士、中小企業診断士、気象予報士、金融保険業界、プロボウラーとの交流を行ってきているところです。

今年度は、土地家屋調査士の方々との交流会を 2 月に開催する予定です。不動産登記の関わる調査や測量、申請業務などで、多少コンサルタント会社との関わりがあるようですが、お互いにあまり詳しいことを知らない状況です。試験の難易度や仕事の内容、資格者の起業、業務報酬その他、互いのプレゼンとともに意見交換をすることにしております。